

(別紙2-2)

新たな振興計画(素案)に対する意見
(離島過疎地域振興部会)

2021/8/17 11:29

No.	提出者 ※敬称略	提出回	章	頁	行	本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案) ※県担当部局で対応方針(考え方)を作成の上、部会で審議し、結果を整理していく。	所管課
1	鯨本あつこ	第2回	4	72	21	離島における航路・航空路を含む交通・情報通信等の基盤整備の拡充、医療・介護・福祉サービスの確保、子育て・教育環境の充実を推進し、離島・過疎地域の定住条件を整備する。	離島における航路・航空路を含む交通・情報通信等の基盤整備の拡充、医療・介護・福祉サービスの確保、子育て・教育環境・ 住宅 の充実を推進し、離島・過疎地域の定住条件を整備する。	離島地域の多くでは住宅が不足している。住宅の充実がなければ、定住条件が整備できたとはいえないため、この部分にも「住宅」または「住まい」を追記したい	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 ・住宅の充実が定住条件の整備を図る上で重要であることから、ご指摘のとおり反映します。 ・住宅の充実に向けては、公営住宅の整備のほか、市町村と連携した空き家の活用や定住促進団地の整備等に取り組んでまいります。	地域・離島課
2	鯨本あつこ	第2回	5	156	21	全国の小学校や中学校から離島の小中学校や高等学校へ入学する「離島留学」について、市町村等と連携し情報発信に取り組む。	全国の小学校や中学校から離島の小中学校や高等学校へ入学する「離島留学」について、市町村等と連携した情報発信や 受け入れ団体の支援 に取り組む。	離島留学については、受け入れ団体の体制が不十分な場合に、留学生や保護者との間でトラブルが生じるケースがみられる。情報発信を支援する場合は、その後の責任も伴うため、受け入れ団体の体制を補強するサポートも同時に行ってほしい	【【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 全国の小学校や中学校から離島の小中学校や高等学校へ入学する「離島留学」について、市町村等と連携した 受け入れ団体の支援 や情報発信に取り組む。 ・市町村立の小中学校や高等学校については、県や市町村の関係部局と連携するとともに、離島の留学センターについては、離島市町村と連携し受入団体の支援のあり方について検討してまいります。	地域・離島課

新たな振興計画関連体系図(案)に対する意見
(離島過疎地域振興部会)

2021/8/16 16:51

No.	提出者 ※敬称略	提出回	主要指標/成果 指標の別	基本施策番号/施策 番号	指標名	指標(案)	目標値	理由等	審議結果(案) ※県担当部局で対応方針(考え方)を作成の上、 部会で審議し、結果を整理していく。	所管課
1	古謝 安子	第1回	成果指標	2-(3) エ ①	結核患者罹患率	新規感染症患者及 び結核患者罹患数	減少する	新型コロナウイルスの他に今後も発生が世界規模で危惧されており、保健所機能や防疫体制を強化する指標になるため	【福祉保健部会へ申し送り】 審議箇所が他部会所管事項であることから、担当の部会への申し送り事項として整理する。	保健医療部医療政策課
2	古謝 安子	第1回	成果指標	2-(3) エ ②	感染管理認定看護師数	感染管理専門及び 認定看護師数	増加することができる	専門看護師は修士課程において各科を超えて施設全体を制御教育指導できる。認定看護師は所属科の実践者であるため	【福祉保健部会へ申し送り】 審議箇所が他部会所管事項であることから、担当の部会への申し送り事項として整理する。	保健医療部医療政策課
3	古謝 安子	第1回	成果指標	2-(7) ウ ②	介護サービスを受けられる離島数	入所介護サービスを受けられる離島数	増加することができる	要介護高齢者や家族が最後まで島で生活できるようにするには入所可能なサービス体制が急務。介護サービス提供はほとんどの島で実現している。	【福祉保健部会へ申し送り】 審議箇所が他部会所管事項であることから、担当の部会への申し送り事項として整理する。	子ども生活福祉部高齢者福祉介護課
4	崎原永作	第1回	成果指標	5-(4) ウ ①	医療施設に従事する医師数(人口10万人当たり)	-	-	現在、全体医療の中に離島医療が埋没してしまう心配がある。関連体系図の36ページの施策展開ウ「医療・保健などの地域の安全安心を支える人づくり」の中で、施策として医師の確保と質の向上とあるが、成果指標として医療機関に従事する医師数(人口10万当たり)という全体的話だけでなく、離島医療の質をどう評価していくのかも含めて考える必要があるのではないか。	【確認・照会中】	福祉保健部会
5	鯨本あつこ	第1回	成果指標	3-(10) ウ ①	離島地域への入域観光客数及び一人当たり観光消費額	-	-	「施策①着地型観光プログラム等の定着」の成果指標が入域観光客数だが、人数で数えてしまおうと質がおろそかになってしまわないか。	【確認・照会中】	文化観光スポーツ部会

No.	提出者 ※敬称略	提出回	主要指標/成果 指標の別	基本施策番号/施策 番号	指標名	指標(案)	目標値	理由等	審議結果(案) ※県担当部局で対応方針(考え方)を作成の上、 部会で審議し、結果を整理していく。	所管課
6	鯨本あつこ	第1回 第2回	成果指標	4-(4) ア ②	離島地域への入域 観光客数	離島地域への入域 者数	—	<ul style="list-style-type: none"> 「施策②離島訪問の促進」の成果指標が入域観光客数になっているが、数ではないのではないか。 関係人口の創出であればビジネス滞在者や帰省者も含まれる。観光客に限定すると、施策が限定的なものとなり、地域にとって重要な関係人口の創出が計りにくくなる可能性がある。 	<p>【検討中】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該成果指標については、『4-(4)離島を核とする交流と関係人口の創出』のうち、『ア離島と本島・県外との交流の促進』の『②離島訪問の促進』に係る指標として設定しているところであり、関係人口の創出については、次の『イ離島を核とする関係人口の創出と移住促進』における施策テーマであり、本施策(②離島訪問の促進)の成果指標としては、離島訪問の促進による成果は主に観光客数として現れると考えられることから、当該指標を活用することとしております。 また、観光の『質』を図る指標については、『一人あたりの観光消費額』等が考えられますが、他の施策(③-(2)ウ⑤『観光消費額向上に資する新たな拠点形成や観光プログラムの創出』)でも使われているところであり、どのように指標に反映させていく方法があるか等、関係部局とも意見交換してまいりたいと考えております。 	地域・離島課
7	鯨本あつこ	第1回 第2回	成果指標	4-(4) イ ①	国内客の離島宿泊 客数	テレワーク・ワー ケーション推進施設 利用者数	—	<ul style="list-style-type: none"> 「施策①離島におけるテレワーク、ワーケーション等の推進」は、長崎県の五島市をはじめワーケーションを推進している地域がたくさんあって非常にいい例が出てきているが、この成果指標が「国内客の離島宿泊客数」では、どれくらい進んでいるかは測れないので、例えば「ワーケーションができる施設数」あるいは「ワーケーションとしてやってくる方の利用者数」という形も検討できるのではないか。 宿泊客数だけでは正確な結果が読み取れない。まずはビジネス滞在を希望するテレワーカーが利用できる施設を可視化する必要があり、そのうえでテレワーク・ワーケーションの受け入れや推進を行う施設の利用者数を把握できれば実態が読み取りやすくなると思う。 	<p>【検討中】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内閣府が実施している、沖縄テレワーク施設整備事業(R2~R3)において、離島地域も含めて県内各地でテレワーク施設が整備されていることも踏まえ、ご意見のとおり、「テレワーク・ワーケーション推進施設利用者数」に指標の変更を検討したいと考えております。 	地域・離島課
8	鯨本あつこ	第2回	成果指標	5-(1) 施策展開ウ	離島高校生の教育 用コンピューター1台 当たりの児童生徒 数	ICTを活用した授業 の時間数	—	<p>コンピューターの台数だけでは実際に活用されていないとしても、台数がクリアできれば成果指標をクリアしたことにできる。子どもたちの学びに成果があったかを計るにはICTを活用した授業時間を指標としたほうがよいのではないか</p>	<p>【確認・照会中】</p>	人づくり部会

No.	提出者 ※敬称略	提出回	主要指標/成果 指標の別	基本施策番号/施策 番号	指標名	指標(案)	目標値	理由等	審議結果(案) ※県担当部局で対応方針(考え方)を作成の上、 部会で審議し、結果を整理していく。	所管課
9	鯨本あつこ	第1回 第2回	成果指標	5-(4) イ ①	「地域おこし協力隊」 及び「地域おこし協 力隊マネージャー」 数	自治会や青年団等 の自治組織に所属 する人数	—	<p>・「施策①地域づくりをリードする人材の育成・確保」の成果指標が「地域おこし協力隊及び地域おこし協力隊マネージャー数」とあるが、これは総務省の取組だけの話なので、実際にこれだけでは地域づくりをリードする人材の育成・確保は分からない。また、地域おこし協力隊の定着率の問題もあるので、本当にこの地域をリードする方なのかどうなのか疑問が残る。</p> <p>・「地域おこし協力隊」およびマネージャーだけでは限定的であり、定着率が低ければ地域づくりを担う人材になりえない。具体的に地域を支える組織の人数を指標としたほうが良いと考える</p>	<p>【検討中】</p> <p>地域リーダーの確保・育成については、住民に身近な市町村において、地域住民と連携・協働のもと、取り組まれているものと認識しております。</p> <p>県としましては、ご提案のあった指標(案)につきましては、離島・過疎市町村で設定されている、地域リーダーに関連する指標を確認するなど、適切な指標を検討してまいりたいと考えております。</p>	地域・離島課
10	鯨本あつこ	第1回	成果指標	5-(4) イ ②	環境活動を実践する ボランティア団体 数	—	—	<p>「施策②持続的な環境保全活動を担うボランティアの育成」とあるが、なぜここは環境保全活動だけなのか？ 気になる。地域社会を支える人づくりの点であれば、「地域福祉」や「教育」で地域に関する活動を行っているボランティアの育成であれば分かるため、環境保全で限定する必要はないのではないか。</p>	<p>【確認・照会中】</p>	環境部会 人づくり部会

新たな振興計画(素案)に対する意見(その他)
(離島過疎地域振興部会)

2021/8/16 16:53

No.	提出者 ※敬称略	提出回	意見内容	対応方針(考え方)	所管課
1	崎原永作	第1回	前回の部会で保健医療部が、離島関係者が集まり離島医療体系の将来構想委員会を開催するとのことだったが、その後の状況はどうなっているか。 離島医療の方向性、きめ細かな意見交換、将来構想につながる委員会の開催を検討していただきたい。	【確認・照会中】	福祉保健部会
2	宮里哲	第1回	コロナや新たな感染症だけの問題ではなく、小規模離島は住民健診を含め職場健診もなかなか地域ではできず、沖縄本島に來たり、あるいは沖縄本島の財団が離島に行って、それでも台風で來られなかったり、いろいろな問題も抱えているので、病院船を作ることも議論に入れていただきたい。	【確認・照会中】	福祉保健部会
3	嘉数啓	第1回	ごみ処理については離島に限らず共通の悩み。島のよっては、ごみを資源として、「捨てたらごみ、使ったら資源」という有名な言葉があるが、コストがかかっても資源化して助成する方法があればSDGsの基本理念にも合うのではないか。	【確認・照会中】	環境部会
4	宮里哲	第1回	産業の育成だけではなく、住宅も計画的に整備しないといけない。振興計画にも住宅の計画的な建替え等の促進とあるが、普通行政で造ろうとしたら公営住宅になるが、若者でそれなりの所得があっても住めるような住宅整備が必要である。 特に都会では民間企業がアパートも造るが、小さい自治体や過疎地域では造れない。行政がどういう制度で住宅を整備していくのか、それと併せてどういう形で産業育成をしていくのか、広域も含めて逆のパターンを行政の立ち位置からしっかりと振興計画に書く必要があるのではないか。	【原文のとおり】 第4章(6)ア①にて、「公的賃貸住宅等の供給を促進する」との記載がありますが、公的賃貸住宅には公営住宅以外に”地域優良賃貸住宅”がありません。 当該制度は、低額所得者以外の入居を可能としており、子育て世帯や高齢者世帯等、各地域における居住の安定に配慮を要する世帯に賃貸住宅を供給するもので、建設・改良等の整備費及び家賃低廉化が補助メニューとしてあります。集落毎の入居希望者や子育て世帯の有無など地域の実情に精通した地元市町村の役割が重要であることから、県としては、制度の実施に向けた市町村との連携など、今後ともその支援に努めていきます。	土木建築部住宅課

No.	提出者 ※敬称略	提出回	意見内容	対応方針(考え方)	所管課
5	上妻毅	第1回	観光に関して、担い手となる人材に関わる指数、つまり、地元で観光に関わる商品をつくる資格なり能力のある人を目標値を定めて育成していくも必要で、地元の収入、市町村なり島の収入に関わる指数が、入域客数以外にも検討すべき。	【確認・照会中】	文化観光スポーツ部会
6	上妻毅	第1回	離島医療の件だが、沖縄県全体の中で埋没してはいけない。離島に特定した枠組みの中で問題、課題、目標値を明確にしていくべき。	【確認・照会中】	福祉保健部会
7	上妻毅	第1回	離島ならではの幸福度という捉え方があっていい。コミュニティや自然環境、精神的な拠り所の結びつきで、指数にできるかどうかは分からないが、幸福度について何らかの目標や指標を検討することができないか。	【確認・照会中】	離島過疎地域振興部会
8	富永千尋	第1回	関連体系図(案)の展望値については、ほぼ最終に近いアウトカム指標になっていると思う。例えば温室効果ガスの排出量が減って、離島人口が現状維持または増え、総生産が上がると幸福というロジックで、展望値は数値で測定可能、統計資料など客観的なもので社会経済の部分となっているが、沖縄県は、2～3年おきに県民意識調査で幸福度をアンケート調査し、離島と本島を分けて調査・分析しているため、そこもおさえておく必要がある。	【確認・照会中】	総合部会
9	金城清典	第1回	入域人口など、数だけを追うのではなく質を求めることや、ごみの問題等も含めてどのように持続可能な社会をつくっていくのか考えていく必要がある。	【確認・照会中】	環境部会
10	山城定雄	第1回	「持続可能な地域づくり」について、コロナ前はオーバーツーリズムが議論されてきたが、ペットやごみの不法投棄など、環境の面も非常に大きな課題となっている。ごみを落としてもらうのではなく、お金を落としてもらう戦略をしっかりと立てていく必要がある。一番の課題は人材が不足している面である。	【確認・照会中】	環境部会 文化観光スポーツ部会
11	嘉数啓	第2回	沖縄公庫と連携した離島シンクタンクの設立について	【確認・照会中】	地域・離島課

No.	提出者 ※敬称略	提出回	意見内容	対応方針(考え方)	所管課
12	基盤整備部会	第1回	<p>離島地域や過疎地域においては、目的地を繋ぐ公共交通ネットワークが最適なのか。目的を達成するための手段は、巡回診療や移動スーパーなども一つの解だと思われる。</p> <p>例えば古宇利島の島民のソーシャルキャピタルは低くなり、地縁の希薄化という指摘がある。これは「誰一人取り残さない社会」というソーシャルインクルージョンからみれば逆行しています。希薄化の理由は船に乗らないことです。今まではある限られた便数の船に乗るために、乗船場や船内で多様なコミュニケーションが図られてきた。しかし、個々人が車で移動することにより、そのコミュニケーションが無くなりました。離島が繋がれることによる影響の一つです。</p>	<p>(離島過疎地域振興部会へ申し送り) 【自由意見】 自由意見として整理する。</p>	離島過疎地域振興部会
13	基盤整備部会	第1回	<p>渡名喜や粟国などの小規模離島では、出産や高齢者の介護などの面でいろいろな制約があり、宮古、八重山の様な大規模離島と同様に定住条件を示すことは難しく分ける必要がある。</p>	<p>(離島過疎地域振興部会へ申し送り) 【自由意見】 自由意見として整理する。</p>	離島過疎地域振興部会
14	基盤整備部会	第1回	<p>小規模離島の定住条件については、基盤整備を行うだけではなく、漁港を水産や旅客、観光など複数の用途に利用するというような基盤の総合力が重要である点も踏まえ検討する必要がある。</p>	<p>(離島過疎地域振興部会へ申し送り) 【自由意見】 自由意見として整理する。</p>	離島過疎地域振興部会